

すんもはん、画像がないばー



## ウェルネスかごしま 健康増進魅力発掘プロジェクト ウェルネス素材部門

素材名	五感で感じる癒しの旅で、心身リフレッシュ！（免疫力アップ！）7. 屋久島癒しの旅⑦（歴史・文化編）
名前 （ニックネーム）	中村 弘和 様
所在地（県名）	鹿児島県

### ポイント

【内容】「里巡りツアー」で屋久島の各集落に独特の歴史や文化を学ぶ

屋久島には24の集落があるが、一周道路が完成するまでの間は、集落間の往来ができなかったことから、集落毎に多様な文化が残っている。現在、7集落で歴史や文化を集落の語り部が観光客や島民への伝承も含め、「屋久島里巡り推進協議会」を設立し、屋久島里めぐりツアーを行っている。一例として、春牧コースの概要は以下のとおりで、

- 藩政時代に、与論からの開拓者（疎開者）が移住。ヨロン坂の周辺に多い。（龍という姓は与論）以前のトビウオ漁は、沿岸の藻場に産卵期に獲る時期トビ漁でしたが、S30年代に磯焼けで藻場が消失すると時期トビ漁が衰退、そこで与論移住者が修得していた、ロープ曳漁を導入し、屋久島に新たなトビウオ漁が開始され、現在、日本一の水揚げを誇る。今でも与論出身の漁師が多く住む。
- 平清盛の重臣盛国の息子の盛久を祀った盛久神社。源平合戦で京都を追放され、神戸・壇ノ浦と点々とした後、京都に隠れ、毎日、清水寺を参拝するが、源義経に見つかり鎌倉へ連行される。その後、打ち首になる前に、お経をあげていると急に空が光り、刀の刃が3本に折れ、頼朝が驚き、罪を許される。その後、踊り上手であったことから、頼朝に気に入られ、領地安堵の上、馬を与えられ、京都に戻った。その後、盛久は、平家時代の安徳天皇が硫黄島にいるとの情報から、後を追ひ、硫黄島に辿りついたが、病に倒れた。屋久島には薬草があったことから、屋久島の春田浜を目指したが、途中、船内で亡くなったため、春田浜に埋葬したが、不吉なことが多く発生したことから、盛久神社を建立、祀ったら平穏となったとの言い伝えがある。
- 鉄砲が国内で初めて使われたのは、織田信長と武田信玄の長篠の戦いと言われるが、屋久島の楠川の合戦との説が有る。火縄銃を手に入れた種子島家が、試射も兼ね、屋久島の楠川で初めて使ったとの言い伝え有り。
- 大正12年に完成した屋久島森林鉄道（安房森林軌道）は、屋久杉の伐採場があった小杉谷集落から麓の安房集落間の26Kmを結び、材木を運ぶだけでなく、住民の交通手段としても利用されていた。平成21年に経済産業省の近代化遺産に指定。鉄道運送法上、レールをまっすぐしたり、路肩の拡充が必要。2kmまでは、遊園地の乗り物と同じ扱いとなるので、法外となる。今後、国内では高齢化もますます進行することから、観光振興の観点から森林軌道（トロッコ）の整備も一案と考える。